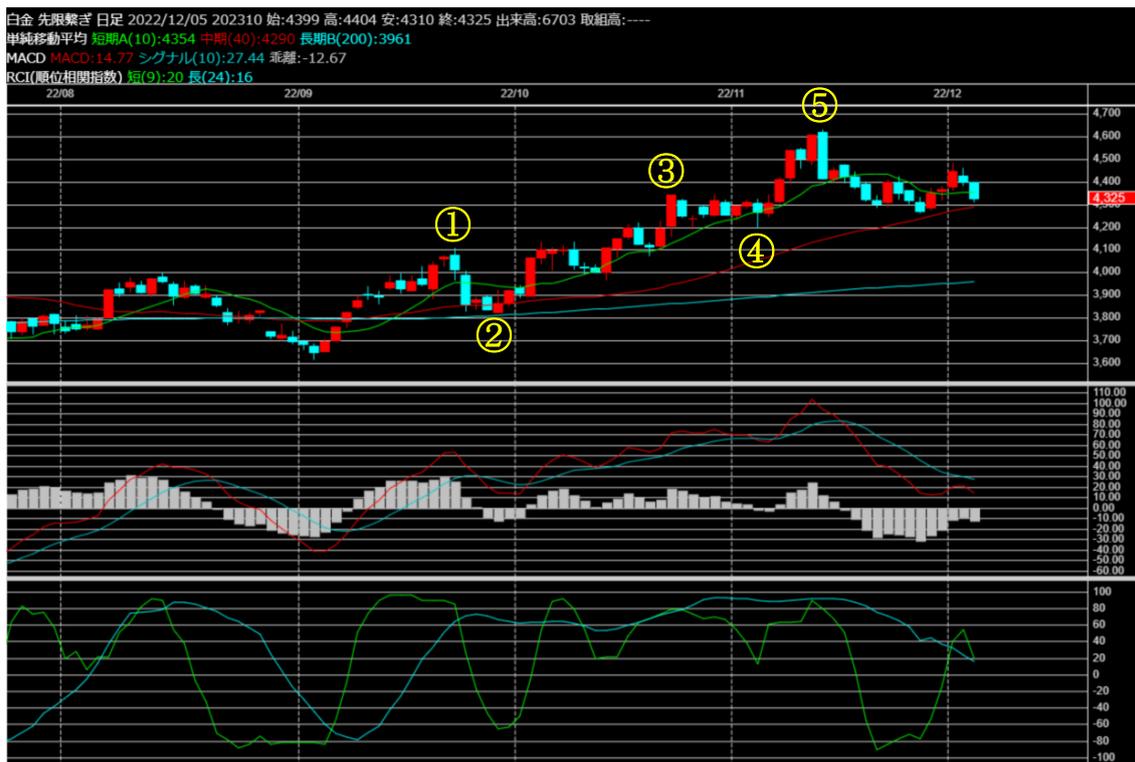


## <白金標準先物、修正波動 C の形成で 4263 円割れに注意・・・>



(出所：オアシス)

中国の北京や上海、広州にウイグル自治区などで過度な感染対策が市民の抗議活動は、中国リスクが一時強まりを見せたが、中国コロナ政策担当者「孫春蘭副首相」はコロナ会議でゼロコロナを意味する「動態清零」という言葉の使用をやめ、習近平主席はミシェル EU 大統領と北京で会談した中で中国の蔓延しているコロナウイルスは致死率が比較的低いオミクロン変異株だとの認識を示す発言を行うなど、ゼロコロナ政策は堅持しながら緩和の動きを示している。特に北京市では検査証明を示す事無く地下鉄の乗車ができ、スーパーや公共施設の利用にも証明書の提示はいらなくなるなど、中国の行動規制が緩和される動きを見せている。

特に先週は中国リスクの高まりを受け白金標準先物は 4263 円 (a) まで下値を模索しながら、パウエル FRB 議長の講演やインフレ指標の低下で 4489 円 (b) まで反発している。しかしサプライズの雇用統計を受けた景気減速懸念の高まりは、景気商品である白金標準先物を押し下げる動きと為替の円高も重なり売られており、波動論で示す修正波動の a、b を終え最後の c へ移行した事で、4263 円を下回る値動きに注意した方がよいと思われる。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD が切り下げながら、シグナルは下げたており、RCI では短期が再度下げだし、長期もさげている。そのため強気のサインは発生していない。また日足が 10 日移動平均線を下回り、40 日移動平均線に近付くなど 4300 円を下回る可能性は高いと思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 3,075,000 円(2022 年 12 月 5 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2022 年 12 月 5 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>